

「身近なりサイクル拠点として浸透してきた」と話すのは、金属原料加工・販売の平林金属（岡山市北区



下中野)の片山穰統括管理課長(39)。不用品回収施設「えこ便」の累計集積量が、2月で2万トンを超えた。

2015年にスタートし、岡山、鳥取県に5施設を展開。家庭の小型

## リサイクル拠点増やしたい

家電や古紙などを受け入れ、自社工場で再資源化。利用者には図書カードなどと交換できるポイントを付与する。「環境意識の啓発とともに、無許可業者の違法回収を防ぐことも狙い」とする。

最近では就職活動中の学生から「えこ便の利用をきっかけに興味を持った」と言われることも増えたという。

「社の知名度向上にもつながっている。今後、施設を増やしていきたい」（伊東圭一）

地方  
経済  
プラス